

総合計画策定に向けたワークショップでのツールとして



沼津市企画部政策企画課

i-都市交流会議2020

1

1.はじめに

令和3年度からの10年間を期間とする第五次総合計画を現在策定中。その中で開催している地域別のワークショップの中で、都市構造課ツールを活用した。

- ・沼津市を6つのグループにわけてワークショップを開催。
- ・日本全国の現状や、沼津市の将来の人口を視覚的にわかりやすく各地域の特徴や捉えてもらうことを目的として、ツールを活用。

ぬまづ地域デザインワークショップ

西部地域 第1回



ワークショップ冒頭での説明

i-都市交流会議2020

2

2. 課内でのツール共有

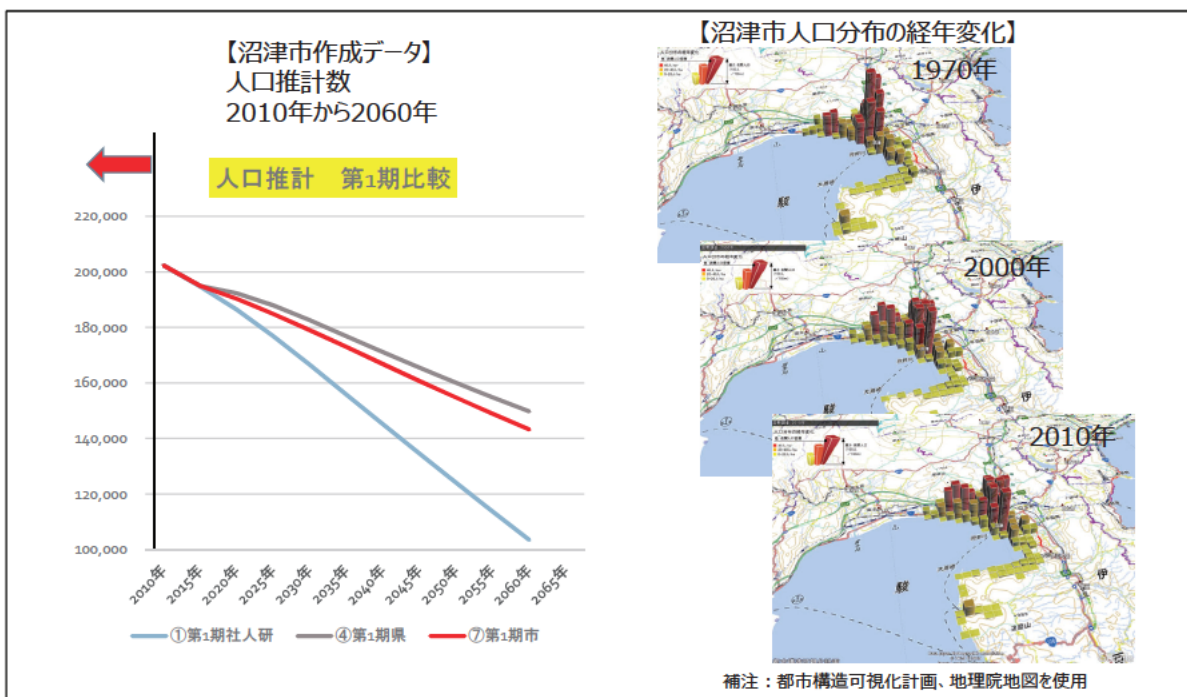
沼津市が抱えているまちづくりの課題を、市民の方にワークショップで視覚的に伝えるため、課内でツールの操作方法から結果の分析を共有。



i-都市交流会議2020

3. 市民への可視化①

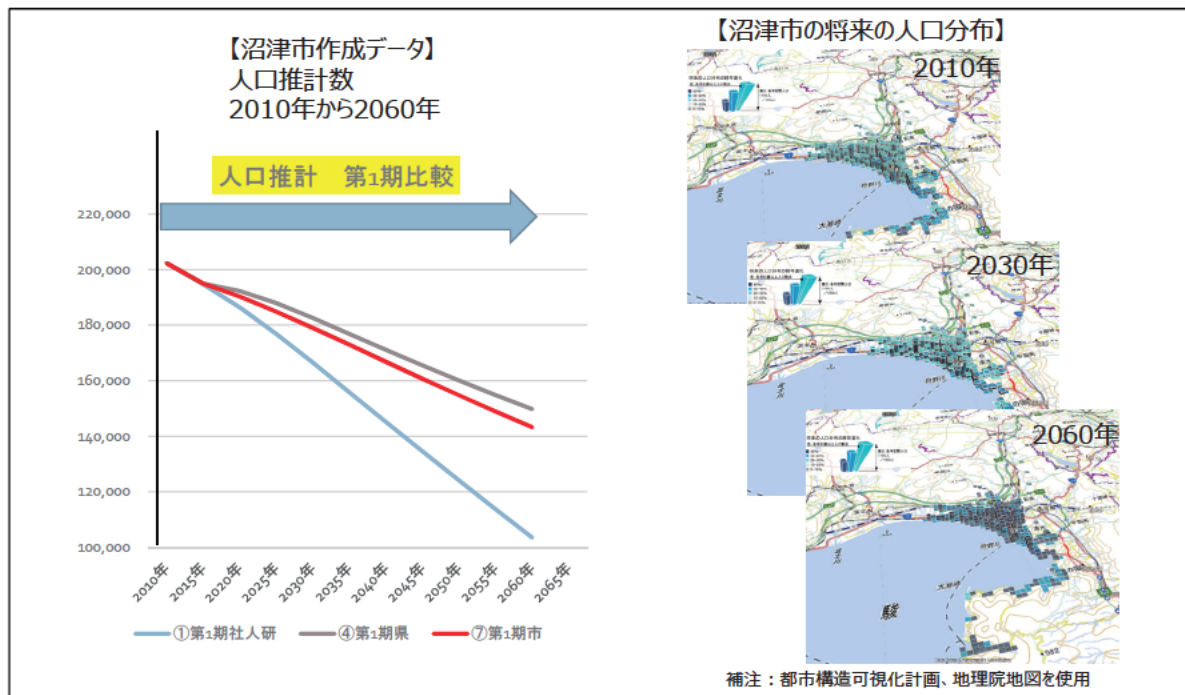
沼津市のこれまでの人口の変化



i-都市交流会議2020

4.市民への可視化②

沼津市のこれからの人口の変化



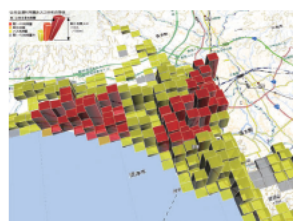
i-都市交流会議2020

5

5.市民への可視化からのワークショップ

沼津の中央地域

まちづくりの方向は、
「人が集まり、人が育つ、
県東部の「かお」となるまち」



【公共交通利用圏と人口分布】



【販売額分布】



【公共交通利用圏と高齢者分布】



補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

i-都市交流会議2020

6

